

電気代、燃料代、子育てを支援

市は2月26日、国の地方創生臨時交付金を活用して、物価高対策支援3億1449万円の予算を提案しました。このうち約7割は国の交付金で、高校生年代までの医療費無料や小中学校の給食費無料などにも使われます。

市は今年2月から物価高支援として、住民税非課税世帯に3万円、同世帯の児童ひとりにつき2万円の給付を行っています。今回の物価高支援は、国の臨時交付金を使って、市が独自に行う支援策となります。

ガソリンなどの燃料代が急激に上がって困っているタクシー会社、運送会社を支援します。タクシー会社への支援は初めてです。社会福祉施設には、電気代を含む運営費が増えた分を支給。子ども食堂には、食材費、光熱水費などの経費に対し、1カ月1万円を上限に補助します。昨年からはまった小中学校の



| 事業名 | 事業費 | うち臨時交付金 | うち県補助金 |
|-----------------|-------------|-------------|---------|
| ①タクシー事業者継続支援 | 350万円 | 250万円 | |
| ②社会福祉施設支援 | 1,694万円 | 1,240万円 | |
| ③貨物自動車運送事業者継続支援 | 2,200万円 | 1,610万円 | |
| ④子ども食堂運営支援 | 120万円 | 80万円 | |
| ⑤子ども医療費無償化 | 2,010万4千円 | 800万円 | 915万7千円 |
| ⑥学校給食費無償化 | 2億5,074万7千円 | 1億8,336万2千円 | |

2025 予算案 物価高対策に3億1,449万円

2025 予算案

日出生台演習場ゲートで抗議のスタンディング

日隈市議は2月27日、地元住民とともに米軍の実弾砲撃訓練に抗議するスタンディングを陸上自衛隊日出生台演習場ゲートで行いました(上の写真)。

在沖繩米海兵隊の実弾砲撃訓練が、2月27日から陸上自衛隊日出生台演習場で始まりました。今回の米軍演習は過去最大規模の米兵430人が参加し、3月9日までの予定。

日隈市議は、演習場を見渡す高台の監視小屋に交代で詰める住民グループを激励。着弾音が地響きとともに響く実弾砲撃訓練を目の当たりにし、地元で暮らす住民の不安を共有しました。監視小屋で砲撃を記録してい

日出生台 米軍演習 実弾砲撃訓練が始まる

在沖繩米海兵隊の実弾砲撃訓練が、2月27日から陸上自衛隊日出生台演習場で始まりました。今回の米軍演習は過去最大規模の米兵430人が参加し、3月9日までの予定。



「米軍演習反対」のプラカードで抗議する地元住民(演習場ゲート前)



演習場を見渡す高台に監視小屋 望遠カメラを構える報道陣